

## サービス産業動向調査 主な課題と検討の方向性

事 項	主 な 課 題	検 討 の 方 向 性 (案)	
1. 調査の確実な実施、結果精度の向上	回収率及び記入率の向上	・ オンライン回答の認知不足解消、過去の回答情報の閲覧・修正機能の追加	
	調査事項の在り方	・ 本調査に求められる役割の整理	
		需要の状況（月次調査）	・ 調査事項の必要性も含めた抜本的な見直し
		都道府県別売上高（拡大調査）	・ 把握すべき「都道府県別売上高」の概念整理 ・ 回答が困難な場合の対処方法、「記入のしかた」の工夫
	事業活動別事業従事者数（拡大調査）	・ 調査目的に照らして、調査事項の必要性も含めた改善	
	母集団情報の在り方	・ 結果精度、ユーザーのニーズ、月次・年次・5年次統計の体系的整備の観点から中長期的に検討	
2. 統計の有用性の向上	付加価値の把握	・ 他の統計調査と組み合わせた付加価値統計を作成	
	QE 等への利活用拡大	・ 国民経済計算次回基準改定に向けた利活用の拡大※	
	消費税の取扱い	・ 府省横断的な場における議論を踏まえた対応	
3. 関連統計の体系的整備	基幹統計化の可否	・ 見直し後の調査の状況や結果の蓄積、国民経済計算等における利活用状況等を踏まえ中長期的に検討	

※ 平成 27 年 1 月分から一部産業（6 業種）について QE 推計に利用（参考 1 参照）